

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	45	学校名	宇都宮市立姿川第一小学校
----	---------------	------	----	-----	--------------

令和8年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重を基盤として、心身ともに健康で、自ら学び正しい判断力と実践力のある心豊かでたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像)

合言葉「なかよく かしこく げんきに がんばる 姿一の子」

【 なかよく 】	【 かしこく 】	【 げんきに 】	【 がんばる 】
心豊かで 思いやりのある子	深く考えよく学ぶ子	健康でたくましい子	ねばり強く やりぬく子
基本的な生活習慣を身に付け、他を思いやる心で行動する子	自ら考え、判断・行動するための基礎的な学力を身に付けている子	心身の健康のために、自らの体力向上に取り組む子	強い意志をもち、自己実現のために最後までやりぬく子

2 学校経営の理念

児童に「社会でたくましく生きる力を育む学校」、児童と教職員の「活力あふれる学校」、児童のために「家庭や地域と共に伸びていく開かれた学校」を目指し、充実した学校経営を展開する。

3 学校経営の方針

(1) 心の教育の充実

・児童のよさや個性が発揮でき、互いに関わり合い・認め合い・励まし合いながら豊かな人間性を構築し、よりよく生きようとする力を育成する。

(2) 主体的・対話的で深い学びの実践

・単元を見通した授業展開を大切にし、学ぶことの基礎・基本の習得を図るとともに、それを活用して主体的に課題を解決する力を育成する。

(3) たくましさの涵養

・基本的な生活習慣を身に付け、自ら健康や体力づくりに励み、自己実現のために、たくましく生きようとする態度を育成する。

(4) やり抜く力の育成

・様々な活動を通して、達成感や成就感を味わわせることで、目標をもち、自ら学ぼうとする意欲及び主体的な態度を育成する。また、地域の教育資源等を活用し、体験的活動や交流活動を通して、郷土への愛情と誇りを育む学習の充実を図り、特色ある学校づくりの推進に努める。

(5) 特別支援教育の推進

・特別な教育的支援が必要な児童一人一人が、自信と意欲をもって学校生活を送れるよう支援体制を強化し、適切な支援の充実に努める。

(6) 教職員の資質・能力の向上

・教育公務員としての誇りと使命感を自覚し、サービスの厳正に努めるとともに、意欲をもって研修及び自己研鑽に励み、指導力の向上と誰からも信頼される教職員として主体性と想像力をもって職

務に励む。

(7) 業務量管理・健康確保措置の実施

・教職員が健康で生き生きとやりがいを持って勤務し、質の高い教育を行うため下記の目標を掲げ、働き方改革を推進する。

【目標】

- 1 教員の時間外在校等時間を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。(令和14年度末)
- 2 児童生徒と向き合う時間を確保できている教員の割合90%を目指す。(令和14年度末)
- 3 時間外在校等時間が1か月80時間を超える教職員の人数0人を目指す。(令和9年度末)

(8) 地域と協働した開かれた学校

・姿川地域学校園，魅力ある学校づくり地域協議会による地域や保護者との連携強化を図り，地域とともにある開かれた学校づくりを推進する。

【姿川地域学校園教育ビジョン】 発達段階に応じた教育活動を通して，基礎・基本の定着を図るとともに，心豊かな子どもを育てる ～9年間の学びを通して～

4 教育課程編成の方針

【基本方針】

学習指導要領の趣旨を踏まえながら，基礎学力の定着や，豊かな心を育成し，児童一人一人のよさを伸ばし，夢や希望を育むとともに，地域に開かれた信頼される学校づくりを目指し，組織としての取組を強化しながら，特色ある教育課程の編成に努める。

【留意点】

- ・学校経営の理念及び方針を受け，全教育課程において意図的・計画的・系統的・横断的にその具現化を図る。
- ・具現化のために，各教科，特別の教科道徳，特別活動，総合的な学習の時間など教育課程相互の配置のバランスを図るとともに各教科の関連付けを図りながら，時数を確保する。
- ・計画的でありながら重点化が図られ，柔軟性をもちながら機能的で，教育活動規模等について調和のとれた実施計画を作成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

児童が，将来，社会の一員として，自分で考え，自ら行動し，どのような環境でもたくましく生きていくことができるように，当たり前のことを大切にした指導を通して，主体的な態度やコミュニケーション能力の育成に努める。 具体目標「がんばる」を重点とした取組

(1) 学校運営

・教職員が児童のよさを認め，可能性を最大限引き出す指導を行うため，主体性と創造性をもって個々の力を発揮し，「和」を尊びながら，信頼と協力で満ちた「活力あふれる学校」づくりに努める。

○勤務時間を考慮した時間設定やメリハリのある働き方ができる学校組織のマネジメントを重視し，校内組織力の強化を図る。(姿川第一小学校教育課程構造図の活用)

(2) 学習指導

○主体的に話し，聴き，学ぶ児童の育成 ～学び合いのある授業づくりを通して～

(3) 児童生徒指導

○思いやりの心もち，望ましい集団づくりを目指した学級経営の充実
～あいさつができ，集団や生活のきまりやマナーを守る児童の育成～

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- 運動の楽しさや健康でいることの大切さが実感できる体育指導の充実と健康・安全教育の推進
～自ら進んで健康の保持増進に努め、体力を高めようとする児童の育成～

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・出会い，ふれあい，つながりを大切にした体験的な活動を通して，相手を思いやる心とコミュニケーション力を身に付け，望ましい人間関係を構築するとともに，進んで学び合おうとする態度を育成する。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

◇「つながりプロジェクト」 キーワード「つながり」

ア 心・人とのつながり

- ・大フジを大切に育てる活動やフジ集会，「フジリン・フジルン（本校のキャラクター）」の活用，あいさつ運動（校内・地域学校園），Q-Uを活用した学級経営の充実 等

イ 学びとのつながり

- ・職業人と関わる活動，外部講師による授業，地域学習での人材活用，学校支援ボランティアによる授業支援

ウ 自然とのつながり

- ・SDGsの取組，植物栽培・農業見学等活動，大フジを大切に育てる活動やフジ集会 等

エ 家庭・地域とのつながり

- ・姿川地域学校園内の小中一貫教育，幼保小連携の実践，地域施設や地域資源を活用した校外学習，フジ愛護会による大フジの世話 等

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

- ・姿川地域学校園，魅力ある学校づくり地域協議会，保護者，地域，各種団体との「つながり」を深めながら，地域の教育力を生かした教育活動の工夫・充実を図る。

②主な取組

- ・うつのみや学校マネジメントシステムの学校評価について，アンケート結果や課題についての意見交換を行うとともに，ホームページや学校だよりで教育活動を公開し，学校教育への理解と協力を得る。

- ・魅力ある学校づくり地域協議会の協力を得ながら，目的を共有した教育活動を行う。

＊フジ愛護活動＊登下校見守り隊＊親子料理教室＊読み聞かせ＊学習支援ボランティアなど

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

- ・発達段階に応じた9年間の教育活動を通して，基礎・基本の定着を図るとともに，心豊かな子どもを育てる。

②主な取組

- ・学力向上，生活，健康推進，食育推進，学校図書館司書，事務，交流の7部会で具体的な取組を検討し，姿川中学校，姿川中央小学校と連携を密に進めていく。乗入れ授業も中から小は残し，児童に有効な交流になるよう交流部会担当学年で計画を立てていく。

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・不登校に対する教職員一人一人の意識を高めるとともに，学校の対応力を向上させ，問題の未然防止や早期発見・早期対応に取り組む。

②主な取組

- ・学校生活に関するアンケートを実施し有効活用を図る。
- ・Q-Uを年2回実施し，要支援群や配慮を要する児童に対しての対応を検討するとともに学級経営を充実させる。「楽しく居心地のよい学級づくり」を目指す。
- ・不登校に兆しがみられる児童への対応を学年会議やケース会議等の組織で検討し，全校体制で進めるとともに，毎月の職員会議のはじめに情報共有をする。
- ・教室に入ることが不安な児童には，居場所を提供し，保護者との登校や教職員がその児童とかわかることで安心して登校できるような支援を行う。
- ・「子どもに寄り添う学校づくり 抱え込まずにみんなで支援」を実践する。
- ・連絡手段や学習支援ツールとして1人1台端末の活用をするなど，不登校児童の個々の状況に応じた支援の充実を図る。
- ・家庭との連絡を密にし，SCや宇都宮市教育センター相談部，いきいきグループやSSW等，外部の専門的な機関と連携しながら進める。

(4) GIGAスクール構想

①基本的考え

- ・多様な子供たちを誰一人取り残すことのない，公正に個別最適化された学びを持続的に実現する教育を目指す。

②主な取組

- ・「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」使えるICTを実現するために，すべての児童及び教職員が1人1台端末を文具の一つとして，授業の内外で日常的に活用するとともに，効果的な利活用を推進する。
- ・教科の学びを深め，学びの本質に迫るため，すべての児童及び教員が協働学習ソフト等を活用した授業を行う。
- ・教科の学びをつなぎ，社会課題の解決に生かすために，学習指導要領を踏まえ，具体目標を設定していくようにする。
- ・教職員間の温度差やスキルの差が出ないようにするための全体，学年での研修を進める。

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

- ・教員自身が宇都宮市，姿川地区に関する理解を深めるとともに，児童にも社会科や総合的な学習の時間での学習を通し，宇都宮市，姿川地区の歴史や産業，文化に対する理解を深める。

②主な取組

- ・社会科，総合的な学習の時間に副読本や教科書を使い課題解決学習を取り入れながら，調べ学習等を展開することで主体的に姿川地区や宇都宮市について学習する。
- ・教育課程に宇都宮学を位置付け，計画的系統的に宇都宮市について学習する。